

第14回全国菜の花サミット in 神崎

4月26～27日、神崎ふれあいプラザとわくわく西の城を会場に全国菜の花サミットが開催されました。

ふれあいプラザでは一般財団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 代表理事鈴木悌介氏(鈴廣かまぼこ代表取締役副社長)が「エネルギーから経済を考える」というテーマで記念講演を行ったほか、リレートークではエネルギー問題や就労問題など笑いを交えながらも、白熱したトークが繰り広げられました。

わくわく西の城では大交流会や分科会が開かれ、参加者は全国のなたね油や、バイオディーゼル燃料などについて、熱心に話を聞いていました。



様々な意見が飛びかうリレートーク



プラザ駐車場にて天ぷら油を精製した
バイオディーゼル燃料で走るゴーカート



わくわく西の城での大交流会



泥の感触に歓声をあげながらも
真剣に苗を植える米沢小5年生



転ばないように気をつけながら
植え進む神崎小5年生

泥にまみれて田植えを体験

米沢小学校、神崎小学校で児童が田植えに挑戦しました。

5月2日米沢小の5年生が立野地先の田んぼで、5月14日神崎小の5年生が神宿地先の田んぼで苗の手植えに挑戦。また、5月2日には古原地先の椿一二さんの水田に都内の中学生が田植え体験に訪れました。

初めての田植え体験で、泥に足を取られながらもどうにか苗を植え付け、貴重な農業体験になりました。



貴重な田植えを体験する都内の中学生